

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月27日
更新年月日	( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大田市 ( 322059 )
地域名 (地域内農業集落名)	福光地域 ( 林・市・森分・湊・吉浦 )

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	21.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	21.3 ha
② 田の面積	20.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.9 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

## (2) 地域農業の現状及び課題

・福光地区の、林集落においては、農地整備事業の実施に伴い設立された「農事組合法人ふくみつ」が整備地の農地を集積して水稲、白ネギを中心に営農を行う。また、市、箱坂集落は近隣の2者の認定農業者により水稲の営農が図られている。また、湊地区でも認定農業者により営農されているが、未整備地も多いことから効率化が図られていない。森分地区では、未整備で不耕作地も多いことから、農地活用の検討が必要。集落営農においては、今後のオペレーターの育成が必要となっている。

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・集落営農法人では水稲を基本としつつ、シロネギなどの高収益作物の生産に取り組んでいる。認定農業者の一人は水稲と飼料用作物、もう一人の認定農業者(農業生産法人)は水稲とキャベツの複合経営を行うなど、安定生産に取り組んでいる。

## 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・農地中間管理機構への貸付を進めるとともに、(農)ふくみつへの農地の集積・集約化を基本としつつ、ふくみつの農作業に支障がない範囲において農業を担う者による農地利用の拡大を進めている。各団地では、担い手により集積されているが、圃場整備の未整備地においては、今後、取り組みを進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	95.0	%	将来の目標とする集積率
			95.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・担い手が利用する農地面積の団地数は4団地。担い手の育成を図るとともに、団地の統合と集約化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・未整備地では、作物によって団地内の集積を検討する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・福光地区において、将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は出し手・受け手に関わらず、原則として農地を機構に貸し付けていく。
(3)基盤整備事業への取組
・森分集落は未整備地であることから、目標の達成に向け担い手、地権者と整備について検討を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・定年を迎える農業経験者について、多面支払活動を中心に今後の主力となるよう、日ごろからの声かけを行う。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・耕作者や圃場の状況等を確認しつつ、必要に応じて労力軽減につながる作業や必要な機械を持たない作業を中心に活用の検討を進め、営農活動の維持に努める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①侵入防止柵や電柵の設置など、地域による鳥獣被害対策を実施する。(森分)
- ②減農薬、市内堆肥の活用を進め、経営経費の削減による所得確保を進める。(福光)
- ③新たな技術の情報収集に努めるとともに、導入を検討し労力の軽減を図る。
- ⑦土地改良区の活動や多面的機能支払を活用し、農地、施設管理、保全に努める。
- ⑧シロネギの拡大や需要に応じた米の生産に向け、育苗ハウスの設置を検討する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	1	水稲・飼料用米・白ネギ	13.30 ha	— ha	水稲・飼料用米・白ネギ	13.30 ha	— ha	福光1-1	
認農	2	水稲、キャベツ・アスパラ	4.72 ha	— ha	水稲、キャベツ・アスパラ	4.72 ha	— ha	福光1-2	
認農	3	水稲、WCS	2.18 ha	— ha	水稲、WCS	2.18 ha	— ha	福光1-3	
認農	4	畜産	— ha	— ha	畜産	— ha	— ha	福光2-1	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	4経営体		20.2 ha	0 ha		20.2 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--